



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

Discover a New World 見つけよう

of Service

奉仕の新生面

1984~'85 R.I 会長 カルロス・カンセコ
猪熊会長 クラブターゲット 見なおそう 出席・親睦・そして奉仕を・・・

第 313 回 例会 59 年 9 月 20 日 第 319 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
50名	32名	66.67%	100%

欠席者(16名) 病欠者(芦田、伊藤宣)

古川、古木、布施、二見、細野、石渡、神作
松本忠、南川、三浦、中西、岡本、竹之内
種ヶ島、土屋、辻

本日のプログラム 9月27日

上田利久君 「文明病について」

次週予定 10月4日

高橋政勝君「米山記念奨学会について」

司会 SAA 一泊研修会 於 箱根「水明荘」
ソングリーダー 有沢昭二君
「我等の生業」

〈会長報告〉

- ・本日は会場をこゝ箱根に移しての例会ですが、「年次大会を終了して」ということで第2回クラブ協議会を開催致します。
- ・会長報告としましては特にございません。

〈幹事報告〉

- ・幹事報告もございません。
- 委員会報告は次週にしていたゞきまして、すぐにクラブ協議会に入りたいと思いますので皆様ご協力をお願い致します。

第2回クラブ協議会

「年次大会を終了して」

猪熊会長：去る9月15、16日の二日間に亘りまして第259地区大会が神奈川県民ホールで開催されました。今回は「ロータリーの伝承と創造」というテーマのもとに行なわれました。

第一日目の午前中は会長、幹事会がございました。内容は三つに別れておりますが要約してご報告致します。第一は地区大会決議です。(見出しのみ)

第一号 国際ロータリー会長代理派遣に対して感謝の件

第二号 R.I. 会長カルロス・カンセコ氏の1984-'85年度テーマに協力の件

第三号 国際ロータリー第259地区直前ガバナー加島 淳君に対する感謝の件

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和中央1-5-40
大和市商工会館内
☎0462-63-7926
例会場：大和市大和南1-4-4
八千代信用金庫大和支店4階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より
会長：猪 熊 唯 夫
会長イレク：上 田 利 久
副会長：藤 田 重 成
幹 事：伊 藤 英 夫
会報委員：松本(三)・上村・伊藤(宣)

第四号 ロータリー財団並びに米山記念奨学会
寄付促進の件

第五号 クラブの拡大と会員増強の件

第六号 青少年活動強化の件

第七号 ロータリー財団・研究グループ交換計画
に協力の件

第八号 シカゴに於ける規定審議会の代議員とし
て直前ガバナー加島淳君に参加を依頼する件

第九号 アジア地域大会並びに国際大会参加推進
に協力の件

第十号 神奈川県、横浜市並びに川崎市に記念品
贈呈の件

第十一号 地区大会協力の諸団体、ホスト、コ・
ホストクラブに感謝の件

第十二号 1985-'86 年度地区大会開催に関する
件

第二は、シンポジウム第一部が石渡パストガバナーの司会により細谷、蔵並、上野の各パストガバナーがパネリストとして進行されました。

細谷パストガバナーは国際問題を取りあげられ、第259地区は韓国と姉妹クラブを締結されているクラブが多いということで韓国のことをとりあげ
①我々日本人は長期間に亘って対韓国に侵略の罪と罰を知るべきである。②私達は常に優越感を捨てること、又韓国の人達を決して蔑視してはならない。③韓国の人達を呼ぶ場合に必らず現地の音読みで呼んでほしい。④韓国の人達に対して、日本人は終戦を境にして生まれ変わっているということを理解してもらう。

蔵並パストガバナーは会員増強とクラブ拡大の件

①従来は本クラブの区域限界内に事業所又は住居を持たなければならないという規定があったが、本年1月以降撤廃されまして、職業分類を見直してこれを充填する場合、自分の市町村内に適格者がなければ、隣接の市町村から増強してもよい。

②シニアアクティブ会員の職業分類の補填をしてほしい。

③記念講演として将棋の米長邦雄氏が「勝負と人生」ということで話されました。氏は現在将棋九段で王将、棋王、棋聖の三冠王だそうです。飾り気も気負いもなく自然に話されたことに感銘を受けました。勝負の世界の厳しさを認識されており我々の日常の職業、スポーツの場に置きかえた時に大変タメになる話をしていたゞきました。このあと石渡パストガバナーが「ロータリーとは人間としての修練の場である。自分は国際ロータリーの一員であるという自覚のもとに時とともに移り変わる国際又は地域社会にいち早く対応出来るような個性あるクラブづくりをしてほしい、そして社会のニーズに答える為にも頑張ってもらいたい」とまとめられました。

第二日目は、各種表彰行事がございました。当クラブでは新ボールハリスフェローとして、有沢さん、石渡さん、伊藤さん、私の4人が、新米山功労者として大高さんが、それぞれ表彰を受けました。

次にシンポジウム第2部が行なわれました。内容はパネル討論会として100名の回答者と4人のパネリストによりまして進行されました。

- 1.あなたは、ロータリークラブが本当に楽しい所だと思いますか？(Yes:73 No:16 その他:1)
- 2.あなたは毎例会の出席を負担に思うことがありますか？(Yes:28 No:58 その他:14)
- 3.あなたはクラブの例会プログラムに満足していますか？(Yes:66 No:28 その他:6)
- 4.あなたは他のクラブを訪問したとき、例会の最後までおられますか？(Yes:80 No:13)
- 5.あなたはクラブの親睦活動に積極的に参加していますか？(Yes:90 No:3 その他:7)
- 6.あなたはロータリークラブで多数の友人を得たいと積極的に行動していますか？(Yes:79 No:9)
- 7.あなたは例会で他のロータリアンと心を開いてよく話合いますか？(Yes:80 No:10)

(Yes: 10 No: 87)

- 8.あなたは困ったことが起きたとき、まずロータリアンに相談しますか？ (Yes: 28 No: 56)
- 9.あなたは他のロータリアンから大切な相談を受けたことがありますか？ (Yes: 38 No: 58)
- 10.あなたは家庭でロータリーのことを話題にしたことがありますか？ (Yes: 81 No: 10)
- 11.あなたの職場はロータリーを理解していると思いますか？ (Yes: 56 No: 28)
- 12.あなたは親しい友人をロータリークラブに入会させたいと思いますか？ (Yes: 87 No: 5)
- 13.あなたはあなたのクラブで一業種一名の原則が守られていると思いますか？ (Yes: 59 No: 34)
- 14.あなたが住んでいる地域の人々はロータリーを高く評価していると思いますか？ (Yes: 33 No: 48)
- 15.あなたのクラブは地域社会に役立っていると思いますか？ (Yes: 74 No: 17)
- 16.あなたのクラブは地域社会で社会奉仕に積極的な取組をしていると思いますか？ (Yes: 65 No: 20)
- 17.あなたのクラブはすべての面で積極的なクラブだと思いますか？ (Yes: 46 No: 33)
- 18.あなたは次代を担う青少年の育成に関心をもっていますか？ (Yes: 94 No: 2)
- 19.あなたは青少年の集まりに参加したことがありますか？ (Yes: 71 No: 21)
- 20.あなたは開発途上国に対しロータリーは積極的に援助すべきだと思いますか？ (Yes: 89 No: 10)
- 21.あなたは3Hプログラムがどのような活動をしているかご存知ですか？ (Yes: 51 No: 41)
- 22.あなたは米山記念奨学会をもっと発展させるべきだと思いますか？ (Yes: 81 No: 10)
- 23.あなたのクラブは青少年交換留学生を受入れたことがありますか？ (Yes: 67 No: 31)
- 24.あなたは国際ロータリーに「ロータリー友情交換プログラム」ができたことをご存知ですか？

以上が2日間の地区大会の内容です。

上田会長エレクト：会長よりお話がありましたので私は補足がてら一言申し上げます。

大変感じましたことは、毎年毎年地区大会がしょぼけてきている。これは、はじめから“地区大会なんて登録だけすればよい。出たってあんなものつまらない”という雰囲気、我々も含めて皆がもっており地区の指導者にも考え方、発想の貧弱者さがあると思います。ですから決して盛り上りのあった大会とは感じられませんでした。処が幸いにして内容は大変濃いものでした。例えばガバナーの現状報告の中にも、ロータリーは子供に返ることであるとよくいわれるが、子供に返るということは、自分と他人を区別しない。これが子供である。この自分と他人を区別しない心がロータリーに必要である。社会奉仕、青少年奉仕活動にしても先を見通す目と暖かい気持で模索すれば、何かが出てくる筈である。行政の気づかない所に目をつけてやる事がロータリーのロータリーたる所以である。行政を動かす仕かけ人になることこそロータリーの基礎であると述べていらっしました。これは亀谷会長の折、私が国際奉仕をやっておりまして、難民定住センターに対する奉仕は一言で言えばこれはまさにこれで、たいしたこととはしなかったけれども政府の考え方を誘導することが出来たと自負しておりますことを新しい方々もおられますので献えてつけ加えさせていただきます。

R.I. 会長代理のお話の中にも、カルロス、カンセコR I 会長の人となりなどの説明がございましたが、アレルギー学者として秀れており、ロータリアンとして秀れていることは解っているのですが、それ以上にプロサッカーの育ての親であり、地元にはボーイスカウトの父といわれるあったかい人となりをもった方だというように話されました。

ロータリーとは人間誰でもが持っている善意を発見する能力を持っているだけではないに、ロータリーはその手段を持っている。そういうことに皆さんは気をつけてほしいというような話がございました。長州知事の挨拶の中にも米長さんの講演の中にもすばらしい言葉がいくつかありました。これを聞く機会のなかった皆さんは大変惜しいことをしたという気持でございます。どうぞ来年、さ来年地区大会を馬鹿にしないで、是非皆さんご参加をいたゞきたいと思えます。

伊藤幹事：出席された方々に一言

長野君：私は2日目に出席致しました。いろいろありますが一言だけ、パネル討論会の中の24項目の質問は入会間もない私にとり、すべて思っていることが含まれていたような気がし、回答の数字なども興味深く見ておりました。がやはり出席することに意味があるということを感じました。

有沢君：上田さんが、しょぼく来てきたと申されましたが内容は非常に濃かったと私は思いました。特に末永会長代理のお話の中で、R.I.会長のターゲット「見つけよう奉仕の新生面」これに言及して我々人類、日本人がかって持っていたものを失ったものを改めて見出すということも一つの方法である。奉仕の新生面は何も新しいことを探すことではないというお話は感銘を受けました。

長洲知事が非常に良い詩を朗読されましたが、残念ながら忘れしたのであれを憶えている方がございましたら教えていたゞきたいのですが……、内容は価値のあるものは皆タダである。例えば青空、澄んだ空気、緑の山々、朝夕の挨拶、神への感謝そして親の愛……

富沢君：ほとんど有沢さんと同じような印象を受けました。すこし出席が少なくて淋しかったけれども中味はなかなか濃かったと思っています。特に我々は皆子供をもっていますが、日本という国が世界に伍して、成はリードしていく上にはどうしても子供を立派に育てなければいけないという

使命があるわけで、日本の民族の今迄もっていて失ってしまったもの、再発見、現代的な意味で見直して、しっかりした精神的な位置づけというものを我々が責任をもって進めていく必要があるということを感じました。

高橋君：私は15日に出席しましたが、ガバナーや会長代理のお話は皆さんが言われた通りですが、特に講演の方で気が付いたことは、将棋をやる人は必ず運という言葉を使うということで興味をもって聞いていたのですが、やはり運という言葉を感じて盛んに使っていました。運は自分から求めるものである。自分が努力しなければ向いてこないということを感じました。

近藤君：私は15日だけ出席いたしました。前の方の報告やら挨拶やら堅い話は余り憶えていませんが、米長九段の話できちっとした修行をしてこれまでになられたのだということを感じました。私個人として、人間として仕事に対してまだまだ修行が足りないということを感じました。

後藤君：15日に出席しました。私は入会以来何とか時間を作って出るようにしていますが、上田さんの感想のように中味は別として盛り上がり——ロータリアン1人1人がこの大会を成功させようという気持ち——がなくなりつゝあるのではないかと感じました。ホストクラブの方々がこういう状況をどう感じられたのかなあという思いもしました。お金さえ出しておけばそれでいゝというような、ロータリーの原点とは違う大会になりつゝあるということを感じました。

松本君：私は日曜日の2日目に出席したのですがそれも中座させてもらい内容的なものはまるっきり解らず、でしたが、前日の話を聞き空席が多かったということでした。何回か地区大会出席していますが余り身近かに感じないのです。もうすこし身近かに感じられるようなものがあってよいのではないかと、表彰一つとっても余りにも形式的な感じがしました。

長谷川君：私は2日間出席しました。皆さんそれぞれ大会参加者の退場についてご批判をしておられましたが、私は別な見方で、あの大会に留まる時間が惜しいくらい忙しい人が多いのだということ。又、ロータリーにも定年制を設け老の層の厚くなったものを刷新し、クラブも地区も若返りをはかりすべてフレッシュにしていくべきではないかということ強く感じました。

亀谷分代理：地区大会に対してはいろいろ批判もあり私も分代理としまして、会議の席上でもいろいろ提言は致しました。しかし先ほど上田さんの言われた通り、随性に傾いたが内容は濃かった。とにかく出席しなければ何も言えないという考えに全く同感です。特に新らしい方には出席していたゞき、地区大会を通じてロータリーの組織雰囲気、そして望む所、目指す所、これを身を以って体験していただゞきたい。又式典は形式的で

懇親会

午後7時30分より懇親会に入り、親睦委員会司会のもとに始まり、最初に本日のゴルフの成績をゴルフ会長の前原君より発表されまして、優勝は清水洋三会員、2位はあの格調高い後藤会員、3位は猪熊会長でした。引き続き、各入賞者の弁があり、特に後藤会員のスピーチに会場からは大きな

最後の懇親会に出ていたゞければ感じもすこし和らぎますので最後まで出ていたゞきたい。地区大会のガバナーのお話、末永さんのお話、長洲知事の話を通じいろいろのを感じましたが、やはり我々は誠の花を咲かさなければならぬ。豊かさの中でおしつけの心を持ってはいけない。心というものがどういうものであるか自分に問いかけることから始めなければいけない。ニードの解釈を掘り下げて考えなければいけない。我々は一人一人個性を持った人間でなければならぬ個性をもった人間が自分の個性をこの一つのクラブの中でお互いに活かしていくことによってそれぞれロータリーの本当の精神が世の中に受け入れられてくるのではないかということを感じました。伊藤幹事：以上でクラブ協議会は終わりますが、新米山功労者の大高さんに表彰状が届いておりますので会長より授与致します。

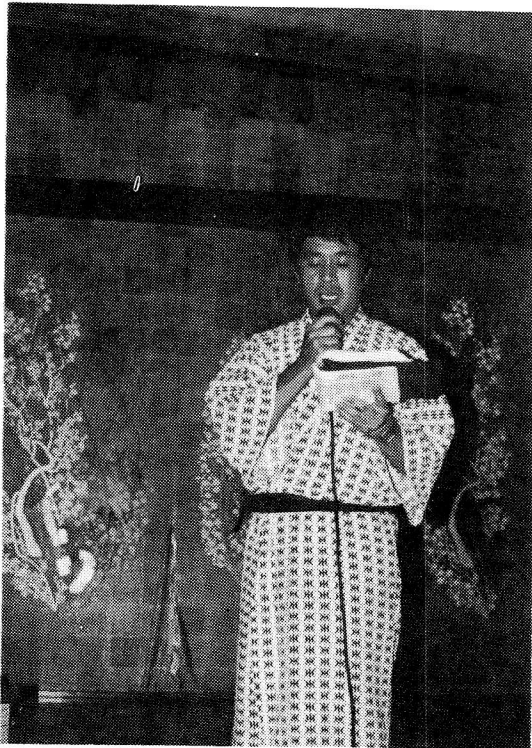
拍手がおきました。その後、カラオケ大会が始まり、特に新会員の染矢会員は、すばらしい歌を披露され当クラブの歴代の自称歌手には、大変なライバルが現れました。猪熊会長より染矢会員に自分にいただいた賞品を渡して楽しい、又有意義な一泊研修会クラブ協議会の幕を閉じました。



先生方何
のご相談
ですか？



会長、増強
はオレにま
かすとけ…
やったるぜ!



ゴルフ委員長
相変わらず
いゝ声ですねえ